

祝辞

前年度代表
埼玉県熊谷市
日向 博美



本日、平成二十九年度
秋季善行表彰を受賞さ
れました皆様、誠に
ありがとうございます。心
よりお慶びを申し上げ
ます。

答辞

受賞者代表
群馬県前橋市
高岸 哲



本日第六十七回秋季善
行表彰式が挙行され、栄
誉ある賞をいただきま
したことは、身に余る光
栄と心から感謝申し上
げます。

に取り組もうという決
意が思い出されます。
私は、埼玉県熊谷市の
少年補導員会で青少年
健全育成の一端を担っ
て活動しています。私が
子供の頃は、地域のご近
所さんが子供たちを見
守っていましたが、いつ
の間にか社会環境が複
雑となり、地域の連帯
感も希薄となって子供
たちに声をかけるのが
ためらわれる世の中にな
ってしまいました。

地域のセーフティネッ
トが奪われ失われつつあ
る昨今、特に私が必要と
思い実践していることは
「熊谷市少年補導員章」
というワッペンの効力を
最大限に生かし、街頭補
導時に一人でも多くの子
供たちに「愛のひと声」
をかけることです。

た個人、団体を代表して
誠に僭越ではございま
すが、一言お礼を申し上
げます。

私は群馬県北毛支部で
活動している者です。同
支部は児童養護施設へ
の慰問、チャリティーゴ
ルフコンペの開催、防犯
パトロール及び、花いっ
ぱい運動などによる善
行活動を実践していま
す。私はこれらの活動に
大きく貢献しているわ
けではなく、今回の受賞
は、今後の活動への期待
料だと受け止め、出席さ
せていただきました。

さて、以前、中学生を
対象にした非行防止教
室で「犯罪へのいろいろ
な誘いに対し、断る勇
気を持つてほしい。」「最
後にどうするかを決め

るの自分自身だが、決
断したことには責任が
ついてくる。先のことを
考えて判断、行動して
ほしい。」と訴えました。
非行に走る少年を一人
でも減らしたい思いか
らそんな話をしたこと
を思い出しました。



下村博文衆議院議員(来賓祝辞)



表彰状授与

祝電を寄せられた方々 (順不同敬称略)

- 茨城県知事 大井川和彦
- 群馬県知事 大澤 正明
- 静岡県知事 川勝 平太
- 宇都宮市長 佐藤 栄一
- 大田区長 松原 忠義
- 板橋区長 坂本 健
- 練馬区長 前川 耀男
- 三鷹市長 清原 慶子
- 調布市長 長友 貴樹
- 狛江市長 高橋 邦彦
- 東大和市長 尾崎 保夫
- 各務原市長 浅野 健司
- 一般社団法人日本善行会 理事 西田 誠
- 一般社団法人日本善行会 監事 福島県支部長 山崎 久夫
- 岩手県支部 支部長 岩間 明雄
- 岩手県南支部 支部長 高橋 睦夫



歌唱



マジックショウ



穴井選考委員長



日本善行会の歌



舞台からの会場



受賞者の皆様

ご接見の栄に浴して

東京都板橋区
角田 仙太郎



この度は、木々の緑が
目に染みる爽やかな快晴
に恵まれた十月三十一日
東宮御所に於いて皇太子
殿下のご接見の栄誉を賜
ることができました。
例年はご接見の皆様が
ご案内をいたしましたか
私自身がこのような機会
をいただけるものとは思
いませんでした。心より
感謝いたします。
玉砂利を一步一步踏み

しめながら生まれてから
今日迄を思い返し、役員
として地元の発展、青
少年の健全育成に微力な
がら貢献出来たこと、元
気に本日を迎えられたこ
と、平成六年より善行会
の様々な行事に参加させ
ていただけたことなど、
幸せを感じながらご接見
に臨みました。
前列に並んでおりまし
たお一人お一人に、「これ
やかにご下問され、「これ
までにどのような活動を
されましたか」とお尋ね
になり私の今迄のお話を
させていただき、記念す
べき一日となりました。
殿下のお言葉を励みに
これからの人生を幸せに
過ごせて行けたらと思
います。

青森県青森市

佐藤 令子



この度は、晴天に恵ま
れ十月三十一日に皇太
子殿下のご接見の栄を
賜り有難く御礼申し上
げます。

明治記念館より歴史を
感じるような並木の中、
東宮御所にと案内され
動揺と緊張の中、優しく
微笑む殿下をお迎えし
た時、涙もなく涙が流れ
て止まりませんでした。

殿下より「どのような
事をされましたか」と
聞かれました。「チャリ
ティをやったその益金
は社会福祉関係に寄付
しております」また、「施
設慰問や緑の羽根募金
などをお手伝いさせて
頂いています」と答えま
した。
殿下は一つ一つにうな
ずいてくださいました。
「これからもからだを
大事に頑張ってください
い」と笑顔で云って下さ
いました。
あの笑顔、あの感激は
一生心に抱いてこれか
らも、いつまでもと思っ
て頑張ってくださいませ